

ソリストとしても、デュトワ、マゼール、メータ等の一流指揮者と共演 ニューヨーク・フィルとパガニーニのヴァイオリン協奏曲全6曲を演奏



インゴルフ・トゥルバン (ヴァイオリン) Ingolf Turban

ベルリン及び、ミュンヘンのフィルハーモニー、ケネディセンター(ワシントン)、エイブリーフィツシャーホール(ニューヨーク)、トーンハレ(チューリッヒ)、ウィーン学友協会ホール、ミラノ・スカラ座での公演にソリストとして出演し、セルジュ・チェリビダッケ、シャルル・デュトワ、ロリン・マゼール、ズービン・メータ、ユーディ・メニューイン、準・メルクル、マルチェッロ・ヴィオッティらと共演。

レパートリーは多岐にわたり、ヴァイオリンのための主だった作品のほか、演奏される機会のまれな作品を取り上げ、紹介する活動も積極的に行っている。特筆すべきはニコロ・パガニーニの作品の取り組みで、2006年にニューヨークフィルとヴァイオリン協奏曲全6曲の録音(テロスレコード)を行なった。またドキュメンタリー番組「パガニーニの謎」(メルクアTV2006)へも出演している。これらの膨大なレパートリーは40枚以上のCDに記録されており、彼の録音によって注目を集めた作品の中には、その後演奏会のスタンダードプログラムとなったものも多く、その功績は大きい。

2005年には室内楽オーケストラ「ヴィルトゥオーゾ・ディ・パガニーニ」を設立した。

世界的な演奏家であると同時に、熱心な教育者でもあり、2006年までの11年間、シュトゥットガルト音楽演劇大学に教授として招かれ後進の指導に専心したのち、現在はミュンヘン音楽演劇大学に籍を移し教鞭を執っている。家族と共にミュンヘンに在住している。

経歴

- 1964年 ミュンヘンに生まれる。
- 12歳よりゲルハルト・ヘッツェルのクラスに入門する。
- イェンツ・エラーマン、ドロシー・ディレイの講習会に参加する。
- 1985年 21歳の時にミュンヘンフィルの第一コンサートマスターとなる
- 1986年 セルジュ・チェリビダッケの指揮の元シベリウスのヴァイオリン協奏曲を演奏しソロデビューを飾る
- 1988年 ミュンヘンフィルを退団し、ソロの活動に専念する
- 1991年 ミラノ・スカラ座デビュー及びワシントンでアメリカデビュー
- 1995年 シュトゥットガルト音大の教授に就任
- 2006年 ミュンヘン音大の教授に就任

コンクール審査員

- ARD München 2009
- PAGANINI GENOVA 2010
- Joseph Joachim Hannover 2015
- Henri Marteau 2017 他

楽譜の監修(ヘンレ社)

- サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン 作品20
- サン=サーンス: ハバネラ ホ長調 作品83
- ドビュッシー: 前奏曲集 第1巻より「ミンストレル」
- チャイコフスキー: 憂鬱なセレナード



サヴァリッシュ朋子 (ピアノ) Sawallisch Tomoko

愛知県に生まれ日本国内の多くの音楽コンクールにおいて優勝、特別賞を受賞。名古屋市立菊里高校音楽科を経て東京音楽大学ピアノ演奏家コースに進み、弘中孝、宮崎和子、両氏に師事。同時に東京藝術大学の渡辺健二氏に師事する。その後渡独し、2002~05年にはミュンヘン音楽大学のマイスタークラスで学び、首席で卒業。この間、ゲルハルト・オピッツ氏に師事し、ブラームスのピアノ協奏曲第1番を演奏してドイツデビューを飾った。2013年にはミュンヘンと名古屋にてソロリサイタルシリーズを開始。2015年よりスタインウェイ・アーティストに認定、また2017年には親戚でもある指揮者ヴォルフガング・サヴァリッシュ財団の日本代表を任命されている。

宗次ホールの情報はこちら！
フォローお待ちしております

♪ 随時更新中です

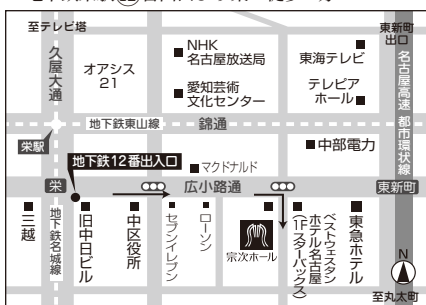


<https://www.facebook.com/munetsuguhall/>



他にも各SNSにて情報発信中！

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業